フラップホイール（研磨輪）・成分表、安全シート

柳　　瀬　　株　　式　　会　　社
兵庫県丹波市山南町谷川１３８５
TEL：０７９５－７７－２１５１

作成日：2005 年 12 月　6 日
変更日：2023 年　8 月　2 日

整理番号：ＭＳＤＳ－Ｆ００９

危険有害性の要約

危 険 性：　危険性は極めて低い。
有 害 性：　研磨作業中に発生する粉じんは眼、皮膚を刺激することがある。
　　研磨作業中に発生する粉じんを吸入すると健康障害を起こすことがある。
環境影響：　研磨作業中に粉じんが発生するので作業環境を汚染する恐れがある。

[GHS 分類]　（構成純物質について）
　別表参照
[GHS ラベル要素]（構成純物質について）
　別表参照

研磨布成分（構成１）

	成　　分	CAS№	号番号（注 1）	含有量（%）
物質の特定	酸化アルミニウム　Al_2O_3	1344-28-1	189	25～40
	炭酸カルシウム　$CaCO_3$	471-34-1		5～20
	六ﾌｯ化ｱﾙﾐﾝ酸三ﾅﾄﾘｳﾑ Na_3AlF_6	13775-53-6		1～10
	樹脂硬化物	なし		15～30
	基盤（綿布）	なし		25～35

基　　盤（構成２）

物質の特定	単一製品・混合物の区分　：　単一製品（炭素鋼）	
	成　　分	含有量（%）
	C（炭素）	0.13～0.18%

危険性情報	発火点	なし。
	加熱性	なし。
	発火性	なし。
	酸化性	なし。
	自己反応性・爆発性	なし。
	粉塵爆発性	なし。
	安定性・反応性	なし。

接　着　剤（構成３）

物質の特定	単一製品・混合物の区分　：　混合物	
	化　学　名	エポキシ樹脂系二液型接着剤
	成　分	ビスフェノールＡ型液状エポキシ樹脂
	化審法番号	７－１２８３他
	ＣＡＳ番号	２５０６８－３８－６他
危険有害性の分類	分類の名称	その他の有害物質
	危険性	可燃性液体（危険物第四類第四石油類）
	有害性	吸入したり皮膚に触れたりすると、中毒やかぶれを起こす恐れがある。
危険性情報	引火点	２０６℃
	安定性	通常の条件では、安定
	反応性	硬化剤とはかなりの発熱を伴って反応する。　急激な硬化、一度に多量の硬化は、時には有害な煙、蒸発物を伴い反応物の炭化・分解を生ずることがある。
主な適用法規	消防法	危険物第四類第四石油類
	海洋汚染防止法	Ｂ類物質
	労働安全衛生法	変異原性物質
	ＰＲＴＲ法	第１種指定化学物質（№30　ﾋﾞｽﾌｪﾉｰﾙＡ型ｴﾎﾟｷｼ樹脂：97%）

応急措置	吸入した場合：　すぐに新鮮な空気の場所に移し、必要ならば医師の手当を受ける。 皮膚に付着した場合：　作業終了後、石鹸水等で洗い流す。 眼に入った場合：　粉じんが眼に入ったら直ちに清浄な流水で洗眼する。この時強く押さえたり擦ったりしないこと。必要ならば医師の手当を受ける。 飲み込んだ場合：　多量の水を飲ませ、嘔吐させる。必要ならば医師の手当を受ける。

<table>
<tr><td>火災時の措置</td><td>消火方法：　燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
消火剤：　水・粉末消火薬剤・泡消火剤・炭酸ガス消火剤等。
使ってはならない消火剤：　情報なし。</td></tr>
<tr><td>漏出時の措置</td><td>人体に対する注意事項：　粉じんが眼に入った場合、水で数分間注意深く洗う。
保護具及び緊急時処理：　粉じんを収集する場合は保護具（保護ﾒｶﾞﾈ、防じんﾏｽｸ等）を着用する。取扱った後は手を洗うこと。
環境に対する注意事項：　特になし。</td></tr>
<tr><td>取扱い及び
保管上の注意</td><td>取扱い：　作業中に粉じんが発生するので、局所排気又は全体排気を行うこと。
保　管：　常温・常湿の所に保管すること。</td></tr>
<tr><td>暴露防止及び
保護借置</td><td>管理濃度・許容濃度
<table>
<tr><th>名称</th><th>化学式又は構造式</th><th>CAS 番号</th><th>管理濃度</th><th>許容濃度
TLV-TWA</th></tr>
<tr><td>酸化アルミニウム</td><td>Al_2O_3</td><td>1344-28-1</td><td>設定されていない</td><td>1mg/m^3</td></tr>
<tr><td>炭酸カルシウム</td><td>$CaCO_3$</td><td>471-34-1</td><td>設定されていない</td><td>設定されていない</td></tr>
<tr><td>六ﾌｯ化
ｱﾙﾐﾝ酸三ﾅﾄﾘｳﾑ</td><td>Na_3AlF_6</td><td>13775-53-6</td><td>設定されていない</td><td>2.5mg/m^3(F として)</td></tr>
<tr><td>樹脂硬化物</td><td></td><td></td><td>設定されていない</td><td>設定されていない</td></tr>
<tr><td>基材</td><td></td><td></td><td>設定されていない</td><td>設定されていない</td></tr>
</table>
設備対策：　粉じん対策として集塵装置を設けること又は必要に応じて全体排気をすること。
集塵装置は発生する火花を吸収し火災になる恐れがあるので直接火花を吸収しない対策をすること。

保護具：　作業者は次の保護具を着用すること。
呼吸器の保護具：　粉じんの濃度及び法規制に基づいた検定済みの半面又は全面フィルター付きの防じんマスク。
手の保護具：　耐火花性のある手袋。
目の保護具：　サイドシール付の安全眼鏡または、完全防護形の防じん眼鏡。
保護衣：　研磨作業中に発生する粉じんと皮膚との接触を避けられるもの。</td></tr>
<tr><td>物理的及び
化学的性質</td><td>外　観：　有色、固体　　引火点：　－　　蒸気圧：　－
溶解度：　水に不要　　発火点：　－　　比　重：　－
沸　点：　－　　爆発限界上限：　－　　揮発性：　－
融　点：　－　　下限：　－　　分解点：　－
溶解度：　－　　臭　気：－　　その他：　－</td></tr>
<tr><td>安定性及び反応性</td><td>安定性・反応性：　大気中で安定
避けるべき物質：　知見なし
有害な分解生成物：　一酸化炭素。二酸化炭素。</td></tr>
<tr><td>有害性情報
（人についての症状、疫学的情報を含む）</td><td>研磨作業時に発生する粉じんを長期間にわたり吸入すると、じん肺の罹る恐れがある。
構成純物質の有害性情報は別紙参照。</td></tr>
<tr><td>環境影響情報</td><td>残留性・分解性：　知見なし。
生体蓄積性：　知見なし。
土壌中の移動性：　知見なし。</td></tr>
</table>

廃棄上の注意	残余廃棄物：　廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 行政の許可を受けた産業廃棄物処理業者に、内容明確にして処理を委託する。
輸送上の注意	国際規制 　海上規制情報：　非危険物 　航空規制情報：　非危険物 国内規制 　陸上規制情報：　規制なし 　海上規制情報：　非危険物 　航空規制情報：　非危険物 安全対策　　：　水漏れ、梱包ケースの損傷に注意する。
適用法令	労働安全衛生法：　名称を通知すべき危険物及び有害物 （法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9） 酸化アルミニウム　（政令番号：189） 六フッ化アルミン酸三ナトリウム　（精霊番号：516 の 2） 粉じん障害防止規則：　研磨材を用いて動力（手持式又は可搬式動力工具によるものを除く。）により、岩石、鉱物若しくは金属を研磨し、若しくはバリ取りし、又は金属を裁断する作業をする場合。 化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）：　該当しない。 毒物及び劇物取締法：　該当しない。 水質汚濁防止法：酸化アルミニウム，六フッ化アルミン酸三ナトリウム 土壌汚染対策法：六フッ化アルミン酸三ナトリウム
その他	記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データーに基づいて作成しておりますが、含有量、物理的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。 また、注意事項は、通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。

構成純物質のGHS分類

○印が該当する物質	○	○
	酸化アルミニウム	六ﾌｯ化ｱﾙﾐﾝ酸三ﾅﾄﾘｳﾑ

物理化学的危険性

火薬類	分類対象外	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外	分類対象外
支燃性・酸化性ガス類	分類対象外	分類対象外
高圧ガス	分類対象外	分類対象外
引火性液体	分類対象外	分類対象外
可燃性固体	区分外	区分外
自己反応性化学品	分類対象外	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外	分類対象外
自然発熱性固体	区分外	区分外
自己発熱性化学品	区分外	区分外
水反応可燃性化学品	区分外	区分外
酸化性液体	分類対象外	分類対象外
酸化性固体	区分外	分類できない
有機過酸化物	分類対象外	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	区分外	区分外
急性毒性（経皮）	分類できない	分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外	分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない	分類対象外
急性毒性（吸入：粉じん）	分類できない	区分 4
急性毒性（吸入：ミスト）	分類できない	区分 4
皮膚腐食性・刺激性	分類できない	区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない	区分2B
呼吸器感作性	分類できない	分類できない
皮膚感作性	分類できない	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない	分類できない
発がん性	区分外	分類できない
生殖毒性	区分できない	分類できない
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	区分 3（気道刺激性）	区分 2(呼吸器,肝臓)
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分 1（吸入：肺）	区分 1(神経系,骨,歯,肺,肝臓,腎臓,胃)
吸引性呼吸器有害性	分類できない	分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	分類できない	区分 2
水生環境慢性有害性	分類できない	区分 2
オゾン層への有害性	分類できない	分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル		
注意喚起語	危険	危険
危険有害性情報	呼吸器への刺激のおそれ 長期又は反復ばく露吸入による肺の障害	吸入すると有害 眼刺激 臓器の障害のおそれ(呼吸器,肝臓) 長期にわたる、または反覆ばく露による臓器の障害(神経系,骨,歯,肺,肝臓,腎臓,胃) 長期継続的影響により水生生物に毒性